

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-200136

(43)Date of publication of application : 10.08.1993

(51)Int.Cl.

A63B 69/36
A63B 69/36

(21)Application number : 04-238490

(71)Applicant : BOUCHET LASSALE JEAN

(22)Date of filing : 07.09.1992

(72)Inventor : BOUCHET LASSALE JEAN

(30)Priority

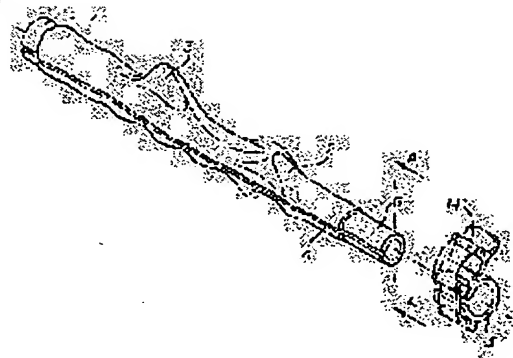
Priority number : 91 2638 Priority date : 09.09.1991 Priority country : CH

(54) CORRECTING GRIP FOR GOLF CLUB

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a correcting grip which can be freely removably attached to an existing golf club so that a golf beginner can naturally learn the gripped position of the club, particularly the positions of fingers.

CONSTITUTION: A sleeve 2 freely removably attached to the grip 1 of a golf club has a recess and a ribbed part 3 formed therein, so that a player can naturally learn the correct gripping position by gripping the club with fingers held along those parts.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than
the examiner's decision of rejection or
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-200136

(43)公開日 平成5年(1993)8月10日

(51)IntCl⁵

A 6 3 B 69/36

識別記号

5 3 1 B

5 0 1 C

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数10(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-238490

(22)出願日 平成4年(1992)9月7日

(31)優先権主張番号 0 2 6 3 8 / 9 1 - 7

(32)優先日 1991年9月9日

(33)優先権主張国 スイス(CH)

(71)出願人 592153861

ジャン ブシェ ラサール

JEAN BOUCHET-LASSAL
E

スイス 1206 ジュネーブ アヴニユ カ
ラス 4

(72)発明者 ジャン ブシェ ラサール

スイス 1206 ジュネーブ アヴニユ カ
ラス 4

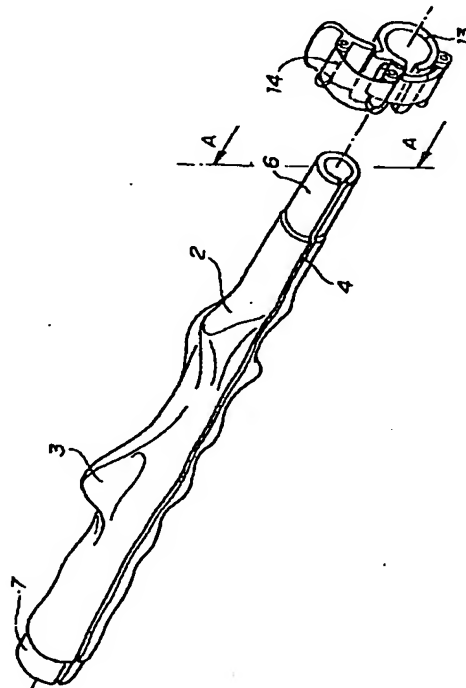
(74)代理人 弁理士 鎌田 文二 (外2名)

(54)【発明の名称】 ゴルフクラブの矯正用グリップ

(57)【要約】

【目的】 ゴルフの初心者がクラブのグリップ位置、特に指の位置を自然に習得できるように、既存のゴルフクラブに着脱自在に装着できる矯正用グリップを提供する。

【構成】 ゴルフクラブのグリップ1に着脱自在に装着するスリーブ2に、凹部とリブ部3を形成し、プレーヤーがこの部分に指をそわせてグリップすることによって自然に正しいグリップ位置を習得することができるようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 手の正しいグリップ位置に対応する位置に凹部とリブ部3を形成したスリーブ2、8、9と、このスリーブをゴルフクラブのグリップに着脱自在に装着するための締結手段5、12-18とからなるゴルフクラブの矯正用グリップ。

【請求項2】 前記凹部及びリブ部の形状をプレーヤーの手の生理学的パラメーターに基づいて決めた請求項1に記載のゴルフクラブの矯正用グリップ。

【請求項3】 上記スリーブを半硬質のプラスチック材料で形成した請求項1又は2に記載のゴルフクラブの矯正用グリップ。

【請求項4】 スリーブの内径をクラブのグリップの外径よりも少し小さくした請求項1-3のいずれかの項に記載のゴルフクラブの矯正用グリップ。

【請求項5】 スリーブに長手方向のスリット4を設けて、グリップに対して着脱自在に装着する請求項1-4のいずれかの項に記載のゴルフクラブの矯正用グリップ。

【請求項6】 スリーブが2つの半円筒体8および9からなる請求項1-5のいずれかの項に記載のゴルフクラブの矯正用グリップ。

【請求項7】 前記2つの半円筒体がクラブのグリップの周囲で顎形になるように、上端部を連結した請求項6に記載のゴルフクラブの矯正用グリップ。

【請求項8】 前記締結手段をスリーブの下端部6、10および上端部7、11に取り付けたリング5、12で構成した請求項1-7のいずれかの項に記載のゴルフクラブの矯正用グリップ。

【請求項9】 前記締結手段を、端部6の円周の2倍の長さがあり、バックル18を利用してスリーブの上部7、11に巻き付ける面ファスナーバンド16で構成した請求項1-7のいずれかの項に記載のゴルフクラブの矯正用グリップ。

【請求項10】 前記締結手段を、レバー14を備えた締結装置13で構成した請求項1-9のいずれかの項に記載のゴルフクラブの矯正用グリップ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ゴルフクラブのグリップに着脱自在に取り付けて、特にプレーヤーがボールを打つ前に、両手の指の位置を矯正することができる矯正用グリップに関する。

【0002】

【従来の技術】ゴルフクラブは、ボールのインパクト面を有する重いヘッドと、様々な直径のシャフトと、他端部に形成されたグリップとからなり、グリップには滑り止めが設けてあり、このグリップに基準線を設けたものもある。

【0003】ゴルフのインストラクターは、初心者教

えるときに、両手の指が理想的な位置になるように凹部と、指の間に嵌まる突部を有する物品をグリップに取付けることがある。

【0004】この部品は初歩の練習の間しか使われず、少しでも上達するとインストラクターは、本当のコースに出られるようになるまで、通常のグリップを備えたクラブで練習させている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】これは初心者にとってはあまりよいことではない。

【0006】なぜなら指の位置を完全に習得するための時間が短すぎたり、最初に教えられたことを忘れて悪い癖を身に付けたり、最初の時点でしっかり指の位置を習得せず、その結果通常のグリップでは、まともなスイングができなくなってしまったりするからである。

【0007】アメリカ特許1664257 (McCullough) には、ゴルフクラブに、指の位置に対応して凹凸が形成されているグリップを被せる方法を開示している。しかしこの方法には、上記凹凸がついたグリップを交換するとそのクラブは使いものにならなくなってしまふという欠点がある。着脱自在のゴルフクラブ用グリップも、アメリカ特許4869511や4878667等を開示されているが、これらのグリップは、グリップを重くしたり、グリップを保護するため等別の目的に用いるものであり、指の位置を覚えるためのものではない。

【0008】この発明は、通常のグリップに着脱自在に装着して、正しい指の位置が覚えらる矯正用グリップを提供しようとするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、手の正しいグリップ位置に対応する位置に凹部とリブ部を形成したスリーブと、このスリーブをゴルフクラブのグリップに着脱自在に装着するための締結手段を設けたものである。

【0010】スリーブの形状は、プレーヤーの体格、性別、利き腕、より一般的には手の形およびグリップを握るときの手の位置に影響を与える生理学的パラメーターを考慮して決める。

【0011】本発明のスリーブの材質として半硬質のプラスチック材料を用いれば、異なる直径の従来のグリップに装着することができる。このためにはスリーブの内径は、このスリーブを装着すべきクラブのグリップの外径よりも少し小さくしなければならない。

【0012】この発明のスリーブとして2つの好ましい形状が考えられる。

【0013】すなわち、一つは一体構造とし、基準線に沿って長手方向のスリットを設ける構造である。このスリットはスリーブをクラブのシャフトの最も直径の小さい部分に嵌め込めるだけ十分に押し広げられるようにな

っており、シャフトにスリーブを嵌め込んでから、スリットは押し広げた状態で、スリーブをスライドさせてクラブのグリップの所定の位置まで動かす。

【0014】もう一つは2つの半円筒体からなる構造である。この場合この2つの半円筒体は両端で、柔軟性がある結合部材を巻き付けて固定してもよいし、スタッドを用いて両半円筒体を互いに固定してもよい。また、同様にスタッドを用いて半円筒体とクラブのグリップを固定させてもよい。この実施例の場合、クラブのシャフトの最も直径の小さい部分に装着させてからグリップの所定位置までスライドさせるようなことはしなくても、直接クラブのグリップに装着することができる。

【0015】どちらの実施例でもスリーブは、それ自体は公知の締結手段を用いて、クラブのグリップに両者が互いに相対的に回転しないように固定する。

【0016】このような締結方法としては、スリーブをクラブのグリップの所定位置に装着してから、スリーブの一端、たとえば下端に面ファスナーバンドを巻き付ける方法などが挙げられる。

【0017】別の締結方法としては、スキーブーツの留具に似た締結手段を用いる方法がある。この方法を以下に詳しく述べる。

【0018】この場合、締結装置の舌部をノッチに係合させ、舌部を手で閉めるとこの装置を取り付けた部分が適当な圧力で締め付けられる。

【0019】スキーブーツのファスナーと同様に、複数のノッチの中から舌部に係合させるノッチをひとつ選ぶことによって、締め付け圧力を調節できる。

【0020】舌部と、舌部に係合するノッチをそれぞれ一個ずつしか設けない場合は締め付け圧力の調節はできない。締結圧力の調節ができないもう一つの締結方法としては、水などを入れる容器や、旅行用あるいは保存用のジャーなどを、蓋と容器の間に設けた弾性ワッシャーを圧縮することによって密封する機構等も考えられる。

【0021】この発明の一つの実施例では、スリーブは一体構造で、長手方向のスリットが形成されており、このグリップを所定の位置に装着してからその下端部を固定するための締結手段を1個備えている。

【0022】別の締結手段としては、ホース用の留め具や、帆船の索具に用いるクラム型のクリート等も挙げられる。

【0023】好ましくはこれらの締結手段としては、あまり場所を取らず、クラブからあまり出っ張らず、クラブの弱い部分に損傷を与えにくいものを選ぶ。

【0024】別の締結手段としては、少なくとも1つのリングからなるものが考えられる。このリングは多少円錐状のものでもよく、スリーブの少なくとも一端側から挿入することができるものとし、またスイング中にクラブのグリップに対してずれてしまわないように、しっかりとスリーブとクラブのグリップを締結することができ

るものでなくてはならない。このリングにはクラブのグリップに形成されているネジ状部に係合する雌ネジを設けたり、内周にギザギザを設けて特別な工具を使わずに締め付けができるようにしてもよい。この締結手段は締め付けた後はクラブの軸線に対して完全に対称形になるので、出っ張り部分をなくすることができるという利点がある。

【0025】2つの半円筒体からなる本発明の別の実施例では、この2つの半円筒体をクラブのグリップに装着してから結合することができる。このためにはまず半円筒体の一方の端部を、この半円筒体とクラブのグリップが所定の角度をなした状態で、クラブのグリップの端部に位置させ、次に他方の半円筒体の端部を最初の半円筒体の端部に差し込んでから、両者をクラブのグリップの周囲で円筒形になるように閉じる。最後にクラブのグリップ上を通過させてシャフト上にまで前もって通しておいた1個のリングを、2つの半円筒体の自由端に差し込んで両者を固定する。このリングを前もってクラブのシャフトの回りの部分にまで差し込んでおくためには、その内径をクラブのグリップの最大径の部分、通常グリップの端部の直径よりも大きくしておかなくてはならない。

【0026】2個のリングを用いて上記2つの半円筒体の両端、すなわちクラブのグリップの両端に対応する部分を固定するようにしてもよい。

【0027】

【実施例】図1は一体構造のスリーブ2の一例を示す。このスリーブは四部およびリブ部3を備え、このスリーブを装着すべきクラブのグリップの基準線に沿ってのびるスリット4が形成されている。

【0028】クラブのグリップの下端に対応するスリーブ2の下端には、他の部分より外径の小さい部分6が形成されており、この部分に締結部材13を固定できるようになっている。スリーブの上端7はクラブのグリップの端部に位置している。

【0029】図2は2つの半円筒体8、9からなるスリーブの例を示す。上部の半円筒体8も外径の小さい下端部10を備えている。この下端部10と半円筒体9の対応部分にリング5が装着される。この例では、クラブのグリップの端部に対応する部分に位置する上端部11にリング12を装着することによって上端部11をクラブのグリップの端部に固定する。

【0030】図3はクラブのグリップ1にスリーブ2を装着した状態を示す長手方向断面図である。リング5によってスリーブ2とクラブのグリップが相対移動するのを、特に相対的に回転するのを確実に防ぐことができる。

【0031】図4はクラブのグリップ1にスリーブを装着してから、締結部材13を閉じて図1に示す下端部6を固定する方法を示す図1のA-A線に沿った横断面図

5

である。14は締結部材13が開いた状態を破線で示したものである。

【0032】図5は一体構造のスリーブの一例を示す。この例では下端部6の径を大きく形成し、その部分にフック15を取付け、その間に面ファスナーバンド16を挿通している。このバンドの一端はテーパ状になっており、他端に取りつけたバックル18に差し込みやすいようになっている。バンド16は端部6の円周のほぼ2倍の長さがあり、2つの部分、すなわちバックルの側、すなわちループを形成する部分にたとえばループ面を形成し、端部17の側にループ面と同じ長さで、ループ面に係合する係止面に分かれている。これによってバンドのバックル18を支点として端部17を引っ張ってスリーブを締め付けると、端部6の円周全体がループ面でカバーされ、次にこの面を係止面で覆う。

【0033】図6はクラブのグリップ（図示省略）にスリーブを固定した状態を示す。

【0034】この発明は図示の実施例に限定されるものではない。

【0035】

【発明の効果】通常のゴルフクラブのグリップに、プレーヤーの正しい指の位置に対応して凹部と突部を設けたスリーブを装着して練習することによって、初心者の中に指の位置を無理に覚えようと努力をしなくても、最終的には本発明のスリーブを装着しているのかにかかわらず、通常のゴルフクラブで正確なグリップ位置を習得することができる。

【0036】この発明の利点としては、とりわけ長期的

6

な視野で見た場合のプレーヤーの技量の向上が図れ、しかもプレーヤーにとってはインストラクターのレッスン料を節約でき、またインストラクターにとってはレッスン時間の節約が図れる点が挙げられる。

【0037】本発明のスリーブを装着することによってグリップの直径が大きくなるが、これはグリップのフィット感には悪影響を与えないことがわかった。

【図面の簡単な説明】

【図1】一体構造のスリーブから締結部材を外した状態の分解斜視図

【図2】2つの半円筒体と2つの固定リングからなる実施例を示す分解斜視図

【図3】グリップにスリーブを装着した状態の長手方向の拡大縦断面図

【図4】締結手段で締結した状態を示す、図1のA-A線に沿った拡大縦断面図

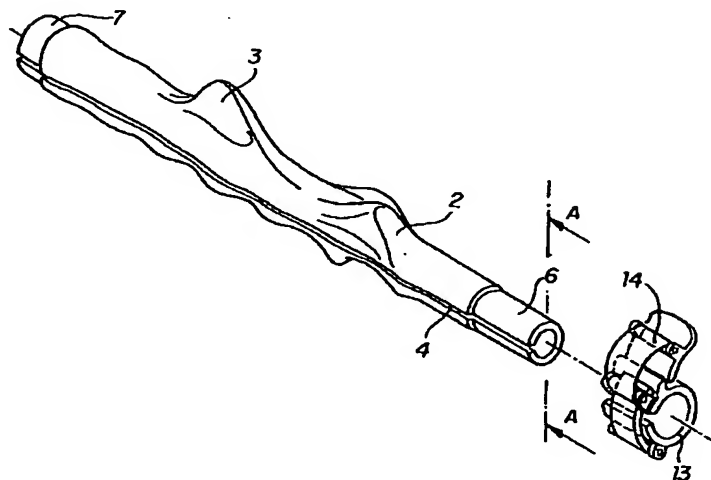
【図5】締結手段として面ファスナーバンドを用いた状態を示す、図1と同様の斜視図

【図6】図5の実施例の拡大縦断面図

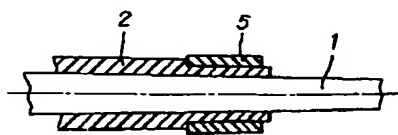
【符号の説明】

- 2 スリーブ
- 3 凹部またはリブ部
- 4 長手方向スリット
- 5、12-18 締結手段
- 8、9 半円筒体
- 16 面ファスナーバンド
- 18 バックル

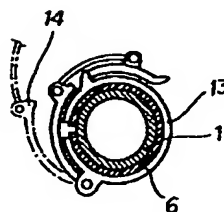
【図1】



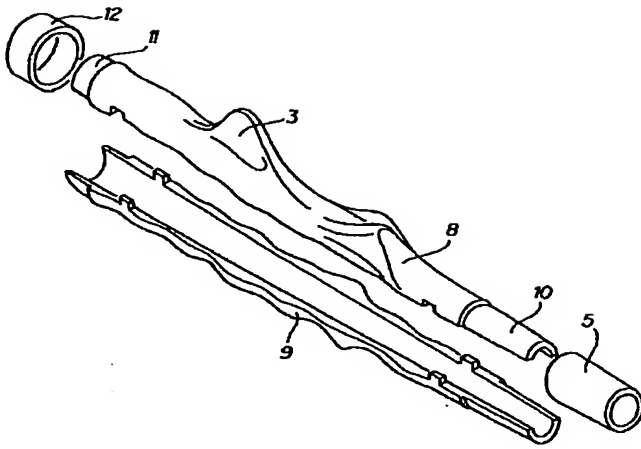
【図3】



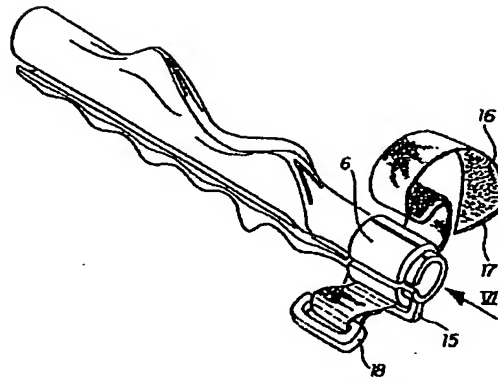
【図4】



【図2】



【図5】



【図6】

